

チャーリー (1992)

CHAPLIN

メディア 映画

ジャンル ドラマ 伝記

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 145分

初公開日 1993/04/24

公開情報 パイオニアLDC提供/東宝東和

【解説】

アッテンボロー監督による、喜劇王チャーリー・チャップリンの生涯を描いた作品。映画は、チャップリンが幼少の頃から、名門カルノー一座の看板俳優時代、そしてハリウッドでの映画製作、富と名声を得、やがて映画「チャップリンの独裁者」の製作に纏わる国外追放、終戦後のアメリカへの帰国から白髪のはえるまで、彼の一生を克明に追って行きながら、その中での孤独、悲しみ、苦しみ、さらには母、兄弟、恋人などの彼に関わる人物をも含み、チャップリンの人生の軌跡を描いてゆく。確かにチャップリンの様々な要因は描いているものの、チャーリー・チャップリン本人が余りに偉大すぎるからなのか、その作品が余りに傑作だからなのか、正直いってこの作品の出来は余り芳しくない。唯一光っていたのが、主役のチャップリン役のロバート・ダウニー・Jr.。チャップリンの仕草から表情、身のこなしまで、そうとう研究したというのがハッキリと感じられる程、彼のチャップリンぶりは素晴らしかった。偉大なる天才の伝記映画を作るといことが、いかに困難であるかが非常に感じられた作品である。

【クレジット】

監督	リチャード・アッテンボロー	Richard Attenborough
製作	リチャード・アッテンボロー マリオ・カサル	Richard Attenborough Mario Kassar
原作	チャールズ・チャップリン デヴィッド・ロビンソン	Charles Chaplin David Robinson
原案	ダイアナ・ホーキンス	
脚本	ウィリアム・ボイド ブライアン・フォーブス ウィリアム・ゴールドマン	William Boyd Bryan Forbes William Goldman
撮影	スヴェン・ニクヴィスト	Sven Nykvist
音楽	ジョン・バリー	John Barry
出演	ロバート・ダウニー・Jr. ジェラルディン・チャップリン ダン・エイクロイド モイラ・ケリー アンソニー・ホプキンス ケヴィン・クライン ダイアン・レイン ケヴィン・ダン ミラ・ジョヴォヴィッチ	Robert Downey Jr. Geraldine Chaplin Dan Aykroyd Moirra Kelly Anthony Hopkins Kevin Kline Diane Lane Kevin Dunn Milla Jovovich

ペネロープ・アン・ミラー	Penelope Ann Miller
ポール・リス	Paul Rhys
ジョン・ソウ	John Thaw
マリサ・トメイ	Marisa Tomei
ナンシー・トラヴィス	Nancy Travis
ジェームズ・ウッズ	James Woods
デヴィッド・ドウカヴニー	David Duchovny